

一般質問

- ・加速する高齢化社会に対応するための具体的な支援策について
- ・健康増進施設としての「ふるる」の今後の在り方について



福田伸次

問 加速する高齢化社会に対応するための具体的な支援策について伺う

答 高齢者の支援事業として、乳酸菌飲料を配達して安否確認を行う「ひとり暮らし高齢者見守り事業」や、緊急時にボタンを押すことで関係機関へ通報する「緊急通報システム設置事業」があります。また、食事に関する支援策では、お弁当配達をしてくれる業者の紹介などをさせていたただいています。このような高齢者を支援する事業が掲載されている「おまもり帳」という冊子を発行し、活用していただくよう周知しています。

また、令和7年度に、快適で効率的な移動手段を提供するAIオンデマンド交通の実証運行を実施します。タクシー事業者と連携し、AIにより配車やルートを最適化していく新しい移動サービスとなります。高齢者の移動手段としての視点も踏まえ、研究をしていきたいと考えます。

本市では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、今後も支援していきます。

問 健康増進施設としての「ふるる」の今後の在り方について伺う

答 市民プールの近年の利用状況を見ますと、令和5年度の年間利用者は延べ20万人で、会員利用者のうち約4割の方が高齢者でした。プール建設の主要目的である健康増進の観点からも十分に機能し、現在行っているエアロビクスやダンス教室は非常に人気が高く、多くの高齢者の方も受講されています。今後、さらに充実した健康増進の場となるように、市内医療機関などと連携した取組について研究をしていきます。



おまもり帳 高齢者ガイド
2021年度版

意見書

議案第29号 令和7年度一般会計予算について	
環境課	ブルーカーボン事業について、広報啓発活動を強化するよう求める。
健康づくり課	東海アクシス看護専門学校へ地元生徒の進学を強く勧めるよう求める。
農林水産課	現在行われている松くい虫防除事業の効果検証を求める。
商工観光課	オートキャンプ場の利用者に迷惑を掛けないよう、速やかな営業再開を求める。



予算決算審査
特別委員会

令和7年3月12日及び13日に委員会を開催し、付託された議案について関係部課長から細部にわたる内容の説明を求め、慎重に審査した結果、本委員会としては、意見を付し、全議案を原案のとおり可決すべきものと決定しました。

原子力対策

特別委員会

令和7年3月17日に委員会を開催し、経済産業省資源エネルギー庁原子力立地政策室の前田室長より第7次エネルギー基本計画の説明を以下のとおり受けました。

第7次エネルギー基本計画の概要

- 東京電力福島第一原子力発電所事故後の歩み
- 第6次エネルギー基本計画策定以降の状況変化
- エネルギー政策の基本的視線
- 2040年に向けた政策の方向性
- 省エネ・非化石転換
- 脱炭素電源の拡大と系統整備
- 次世代エネルギーの確保／供給体制
- 化石資源の確保／供給体制
- CCUS・CDR
- 重要鉱物の確保
- 電力システム改革
- 中部電力(株)より1・2号機の廃止措置の状況についての説明を以下のとおり受けました。